

木造住宅コンテスト・リフォームコンクール

かごしま木造住宅コンテスト

福永建設等に県知事賞

かごしま木造住宅コンテスト2003(県木造住宅推進協議会主催)の入賞者が15日、発表された。県知事賞は、伊藤勝博氏(建築主、加治木町)、角正博氏(設計者)、福永建設(施工者)、野間誠氏(棟梁)のグループがそれぞれ受賞する。

同コンテストは、鹿児島の自然や歴史、風土、文化に根差した木造住宅を県民から広く募り、優秀な作品を表彰するもので、平成13年度に続き2回目の開催となる。

応募対象は、県内にある住宅(併用住宅含む)。大工・工務店等が施工した軸組工法による木造住宅(混構造可)で、過去5年間に新築・完成引き渡しされた住宅。応募は、施工主・設計者・施工者・大工(棟梁)の4人の連名で行うことになっている。

県住宅・建築総合センター主催の第13回住まいのリフォームコンクールの入賞者が決まった。県知事賞には「土間でおしゃべり」の松下清志氏(株マツシタデザイン)、住宅

い、入賞作品を決めた。表彰式は19日、鹿児島市のかごしま県民交流センターで行うこと

もに、入賞作品は「かごしま住まいと建築展」(17-19日、かごしま県民交流センター)でパネル展示する。知事賞以外の入賞は次の通り(①建築主②設計者③施工者④棟梁敬称略)。

協議会長賞①外園清規(蒲生町)②降幡建築設計事務所③(株)上野建設④湯脇雅彦入選

①長年②村田恵美子③村田義弘④秋丸慎吾⑤同⑥富田洋生⑦(株)深野木組⑧一級建築士事務所⑨(株)深野木組⑩(株)山健治⑪同⑫札元勝彦⑬江藤一級建築士事務所⑭(株)江藤建設工業⑮倉原利朗⑯同⑰河内広充⑱(株)益田建設⑲(株)益田建設⑳益田道⑳同㉑福山昌己㉒(株)ランドスケープ㉓(株)植村工務店㉔瀬戸協正之

住まいのリフォームコンクール

県知事賞に松下氏

金融公庫南九州支店長賞に「自宅が安心な療養生活のために」の深野木信氏(株深野木組)、住宅センター理事長賞に「蘇れ! 思い出の家」に感謝を込めての長谷治氏(株春園組)が

選ばれた。その他の入賞は次の通り(敬称略)。

企画賞①平尾幸英(株新拓テクノス)内村文泰(ライファ鹿児島中央②作品)松下清志(株マツシタデザイン)▽奨励賞①内村文泰(ライファ鹿児島中央②竹下伸一(県経済連 武重由香(リフアイン城西)松下清志(株マツシタデザイン)

岩は居間の暖炉のレベルに合致するといふように、常に自然との共存を目指した。また各地域の気候や風土などの特性を生かしながら、何よりも住む人の生活を大切に建った。当時の多くの近代建築が外観にこだわるなか、ライトがやっていたこともモダンな実践なのではと広義に

開催は松井教授が三沢氏と東京芸術大学時代からの旧友の縁で実現できたもので、会員のほか市民や高校生ら約60人が聴講した。司会を務める村田義弘氏(建築工房自然木)。

三沢氏は、落水荘(1936)やロビー邸(1906)、ラーキンビル(1906)、旧帝国ホテル(1922)などをスライドで紹介。「ライトは詳細な地形図をつくって、建物にとって最高の場所がどこであるかを的確に選んだ。さらに等高線に沿って建物のスケッチを描き、例えばその土地に昔からあった大きな

九州電気保安協会は15日、鹿児島市の県市町村自治会館で15年度電気主任技術者実務講習会を開き、電気主任技術者ら約130人が出席して、電気関係法令の改正や電気機器の予防保全などについて学んだ。

講習会では、九州経済産業局電力・ガス事業部電力安全係長の東徹氏が「電気法令関係について」、同協会鹿児島支部技術センター長の芝原雄二氏が「受変電設備の保守点検」についてそれぞれ講義。参加者らは配布され

たテキストにチェックを入れるなど熱心に聴講した。このなかで、東氏は最近の電気関係法令等の改正状況と今後の動向について詳しく解説。電気事業法の改正により、担当

技術者の役割は非常に重なるなど前置きし、電気設備のさらなる予防保全に努めるよう呼び掛けた。同協会の政所一宇鹿児島支部長も「電気設備にトラブルが発生し停電すると、会社経営に多大な

損害を与えかねない。それらを防止するには、予防保全を確実に維持管理していくことが重要。今日の講習内容を十分に理解して、今後の業務に役立てほしい」と語った。

減らすことができる。高圧絶縁常時監視システムは、無停電で24時間連続して高圧設備の微小な地絡監視を行い、事故の前兆となる異常が発生した場合にそのデータを同協会の監視システムに送信。担当技術者が出向き、異常現象の究明を行うというもの。

同協会技術開発部の上田秀児技術グループ長は「契約電力の低減・超過防止や高圧漏電事故未然防止などに貢献するこれらのシステムは、コスト削減を図れると思います。今後も積極的に提案していきたい」と抱負を語った。

鹿児島支部セミナー

ライトの住まいづくりから学ぶ



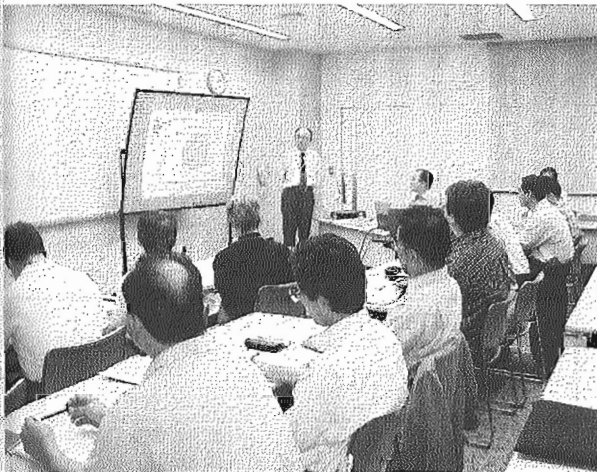
市民や高校生らも聴講したセミナー＝鹿児島市のサンエールかごしまで

「開催は松井教授が三沢氏と東京芸術大学時代からの旧友の縁で実現できたもので、会員のほか市民や高校生ら約60人が聴講した。司会を務める村田義弘氏(建築工房自然木)。

県技術士会10月度CPD

SARで時系列的解析可能も

県技術士会(稲田博会長)の10月度CPD(継続教育)研修会が11日、鹿児島市のかごしま県民交流センターであり、会員の稲田博幸氏(応用理



最近の地盤・地質調査手法をテーマに開かれた研修会＝鹿児島市のかごしま県民交流センターで

学部門・地質が「最近の地盤・地質調査技術」で講話し、マイクロ波を使った合成開口レーダー(SAR)や空中探査法、土壌汚染のリスク評価・調査方法の概要などを紹介した。

その中で、SARについて「マイクロ波を人工衛星から放射して、反射してきた信号から地表面の情報を得る装置で、一般のレーダーの数倍から数千倍の解像度がある。恒久的な散乱点を用いた干渉合成開口レーダー(P-SAR)では、1年単位で地表面を計測できるので、広域な地盤沈下のモニタや地盤変動の時系列的解析が

9001-14001
ISOコンサルティング
—お気軽にご相談ください!!—
合別府産業(株) ISOコンサルタント事業部
TEL (099)813-2662